

「ASEAN諸国の経済状況」

本日のトピックス

1. 環境規制と環境ビジネス規制
2. 日本とASEAN各国の経済発展段階比較
3. ASEANの社会変動や人々の意識

国際機関日本アセアンセンター
貿易投資部 投資担当部長代理
中西宏太

市場経済メカニズムでの環境事業

【「市場の失敗」とその対策】

1) 企業の独占・寡占→独占禁止法・競争法

(独占による競争の阻害、品質の低下、価格コントロールなど)

2) 技術の向上→知的財産権保護法

(技術、ソフトコンテンツへのフリーライダーなど。例:創薬)

3) 失業と格差→社会福祉政策

(失業・リタイヤした人への保障、高齢者・子供、格差による社会不安など)

4) 環境→環境保護法制

(公害、社会的コストの軽減と発生阻止など)

規制によって作られる環境ビジネス

規制対象：水、ゴミ、空気、音、エネルギー、土地、・・・日照、自然、野生動物、生態系・・・

水：工場排水（無機・有機）、上下水道、洪水・・・

廃棄物・ゴミ：廃棄物処理（埋めるか燃やすか）、ダイオキシン、集塵・リサイクルシステム・・・

空気：排煙、ダイオキシン、CO2対策・・・

エネルギー：石化燃料、再生可能・・・

音：建設・操業・機械・交通騒音・・・

土地：地盤沈下、土砂崩れ・・・

食物：化学肥料、農薬、遺伝子組み換え・・・

環境ビジネス規制

【政府による法令に準拠する規制】

【外国企業に対する規制と期待】

- 地元政府主導の環境インフラ整備・入札
- 政府支出の国外流出(製品輸出とは違う)

→国内企業重視

- 最新技術・資本の国内移転、少ない政府予算
 - 外国資本企業への(法治の)不安
- 優遇業種でありながら、規制業種であることも多い

政府を動かすのは、国民の経済水準と生活水準か？

日本とASEAN各国の 経済発展段階比較

環境規制法令や政府・企業の環境対策は経済発展に比例するのではないか。

疑問：ASEAN各国の経済発展段階は、日本の何年前の段階なのか？

→(名目GDPと購買力平価(PPP)での「所得水準」
「生活水準」比較)

ベトナム：1961年、フィリピン1963年、インドネシア
1968年、タイ1975年、マレーシア1989年という数字。

ASEAN 情報マップ



www.asean.or.jp

国際機関日本アセアンセンター(東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター)
〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新橋成門ビル1階 代表: Tel 03-5402-8001

ASEAN Information Map

（折り線）

■ 本資料の掲載情報について

本資料は ASEAN の概要と数十年間の ASEAN の変化を図表で示し、ASEAN 事情を鳥瞰していただくことを目的とし作成したため、複数の情報源を便宜的に整理して掲載した箇所があります。各国際機関・政府統計の手法が異なる、調査対象地域・国の情報・統計等が整っていない等の事情があり、例えば、人口や貿易投資額等の数値についても、図表によって異なる数値が掲載されてます点、ご注意ください。また、本資料はデジタル媒体としてご利用いただけるように日本アセアンセンターのウェブサイトにも掲載されています。データを拡大してより詳細な閲覧が可能です。資料中、小見出しの前に■印がついているグラフは本版(2017年)で、情報を更新したものです。★印については、今回新規に図表を作成したものです。<http://www.asean.or.jp/ja/asean/known/base/outline/6.html>

なお、本資料に掲載された情報利用の採否は、最終的にご利用者の責任と判断によります点、また当センターの提供した情報に関連して、万が一、ご利用者が不利益を被る事態が生じたとしても、当センターは責任を負いかねますこと、ご了承ください。

引用・転載の際は、出所を明記してください。コメント等がありましたら、info_in@asean.or.jp までご連絡ください。

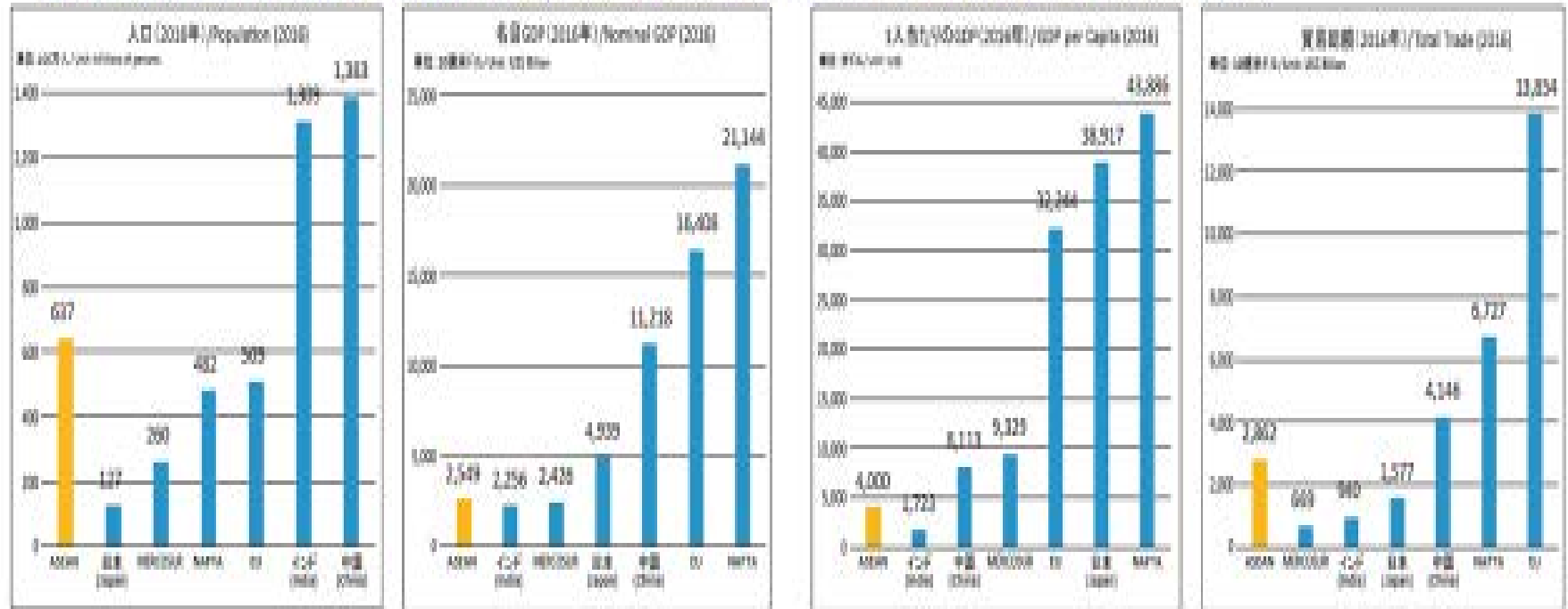
2017年12月改訂

Note: The revised version of ASEAN Information Map is prepared in both Japanese and English upon advice from the ASEAN Member States. The map contains various statistics ranging from population to trade and investment. It is designed to understand the mid and long-term dynamic social and economic development of ASEAN. These data are derived from international organisations and ASEAN governments and compiled on the basis of different methodologies due to data inconsistency.

The square mark "■" shows the latest data updated in 2017, while the star mark "★" indicates charts newly added in this version. AJC shall not be liable for any damages, loss of profits or opportunities arising from using this map. You are advised to check the original data. The map is available in the PDF format and can be downloaded on AJC's website (<http://www.asean.or.jp/ja/asean/known/base/outline/6.html>). Users of our data must acknowledge and cite data sources correctly in all publications and outputs. If you have any comment or query, please submit your request to info_in@asean.or.jp.

As of December 2017

■ ASEANと他地域との基礎データ比較 / Comparison of Basic Data between ASEAN and Other Economies, 2016



Source : A/C compilation, based on International Monetary Fund, World Economic Outlook Database (2017), UNCTAD, UNCTADstat (2017)
<http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2017/01/weodata/weoselg.aspx>, <http://unctadstat.unctad.org/EN/index.html>

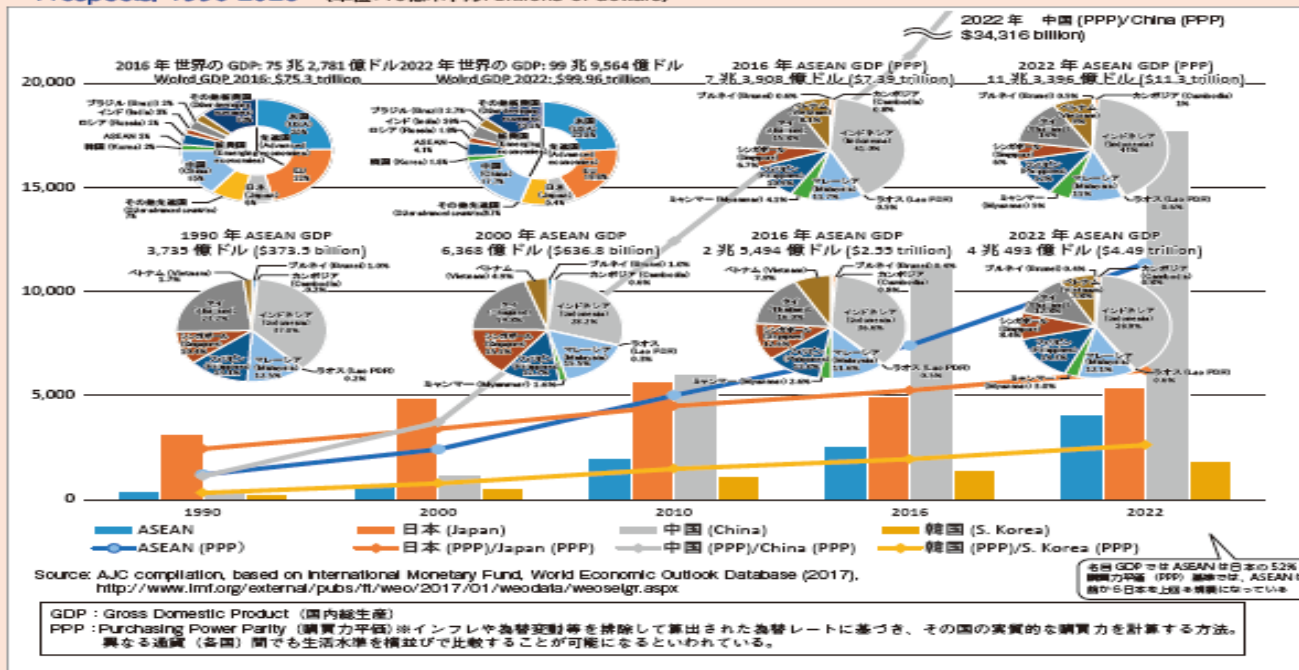
3. 経済と資本 (1) GDP/PPP

Economy & Capital

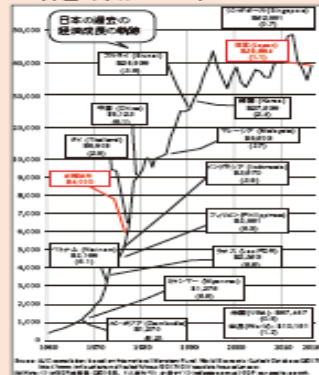
着実な経済成長・上昇する生活水準

Promising Economic Development & Rising Living Standards

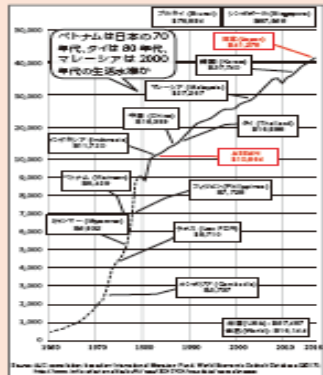
★ ASEANの名目GDP・GDP (PPP) 推移と予測 (1990年～2020年) / ASEAN Nominal GDP・GDP (PPP) Trends and Prospects, 1990-2020 (単位:10億米ドル/Billions of dollars)



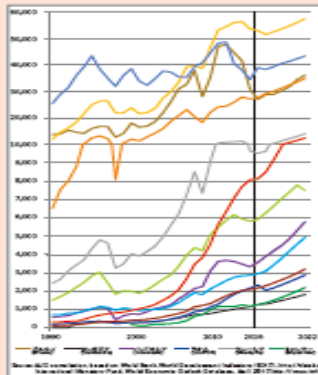
★ 日本のGDP推移と各国の現在 (2016年、1人当たり)・成長率 / GDP per Capita and Japan's Growth (単位:米ドル/Dollars)



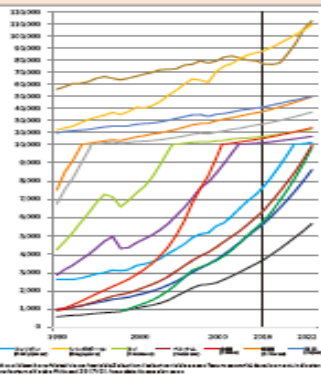
★ 日本のPPP調整GDP推移と各国の現在 (2016年、1人当たり) / GDP (PPP) per Capita and Japan's Growth (単位:米ドル/Unit: Dollars)



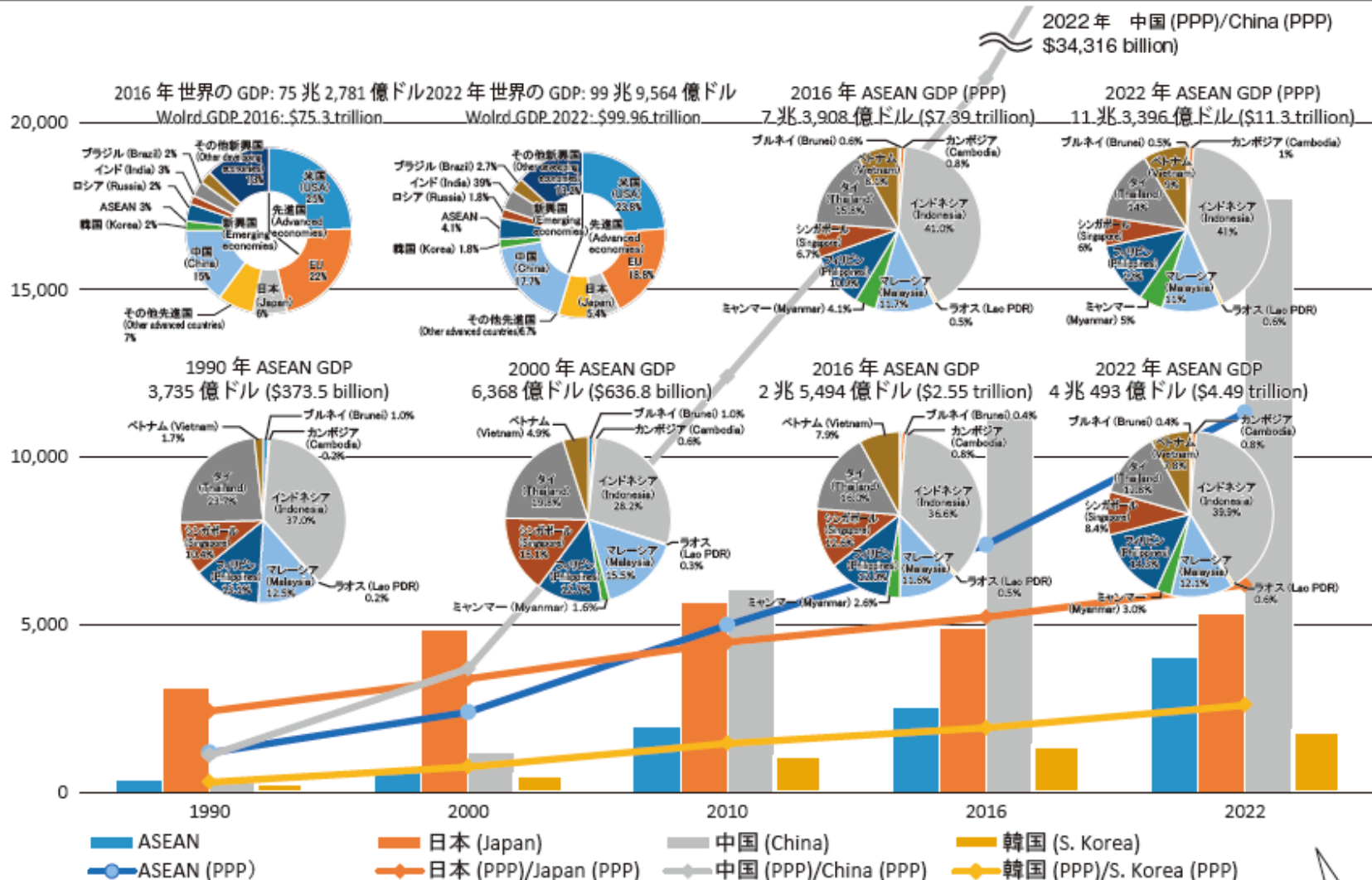
■ 1人当たりのGDPの推移 / GDP per Capita (単位:米ドル/Unit: Dollars)



■ 1人当たりのPPPの推移 / GDP per Capita, PPP (単位:米ドル/Unit: Dollars)



★ ASEANの名目GDP・GDP (PPP) 推移と予測(1990年～2020年) / ASEAN Nominal GDP・GDP (PPP) Trends and Prospects, 1990-2020 (単位:10億米ドル/Billions of dollars)



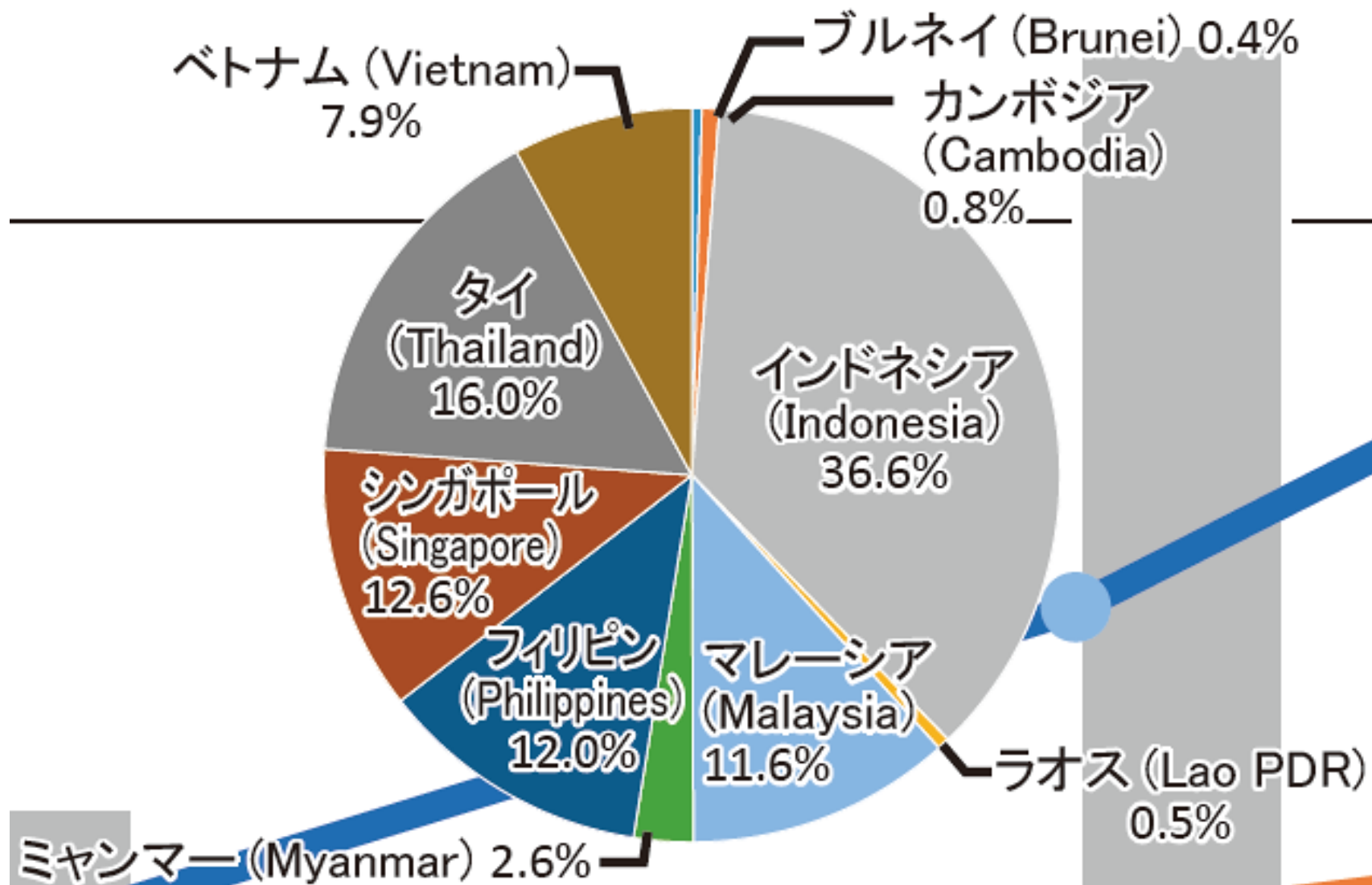
Source: AJC compilation, based on International Monetary Fund, World Economic Outlook Database (2017), <http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2017/01/weodata/weoselgr.aspx>

名目GDPではASEANは日本の52%だが、購買力平価(PPP)基準では、ASEANは数年前から日本を上回る規模になっている

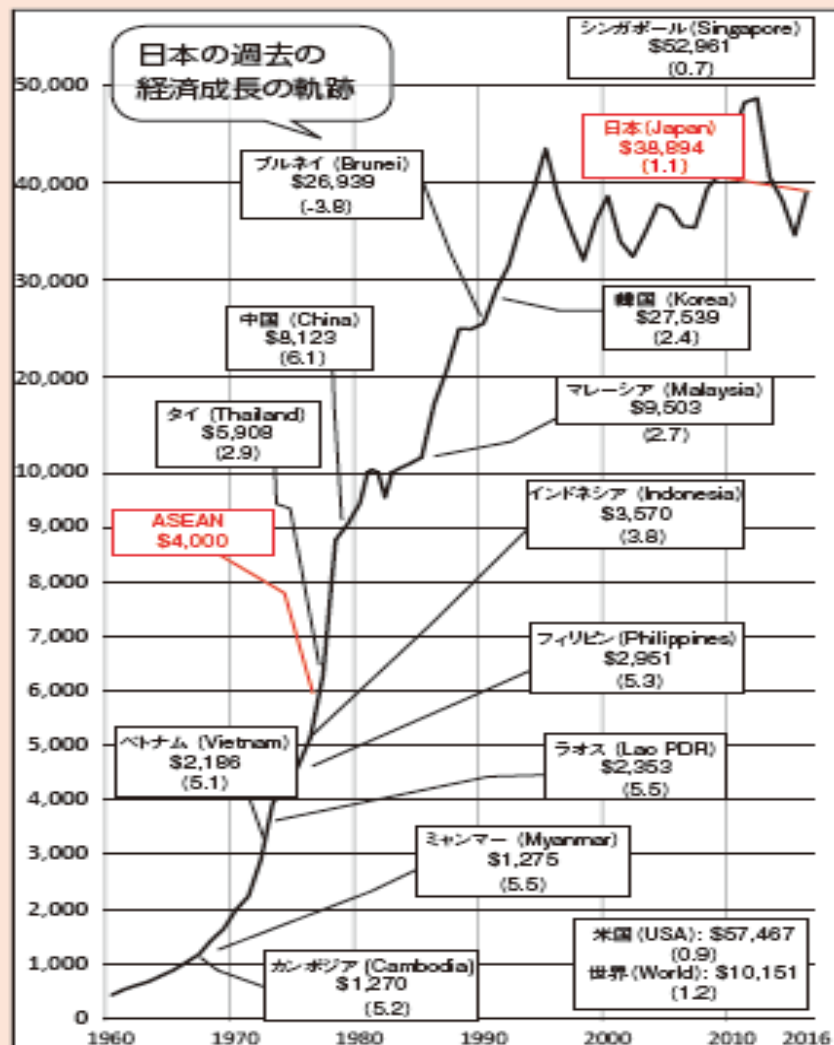
GDP: Gross Domestic Product (国内総生産)
 PPP: Purchasing Power Parity (購買力平価) ※インフレや為替変動等を排除して算出された為替レートに基づき、その国の実質的な購買力を計算する方法。
 異なる通貨(各国)間でも生活水準を横並びで比較することが可能になるといわれている。

2016年 ASEAN GDP

2兆5,494億ドル (\$2.55 trillion)

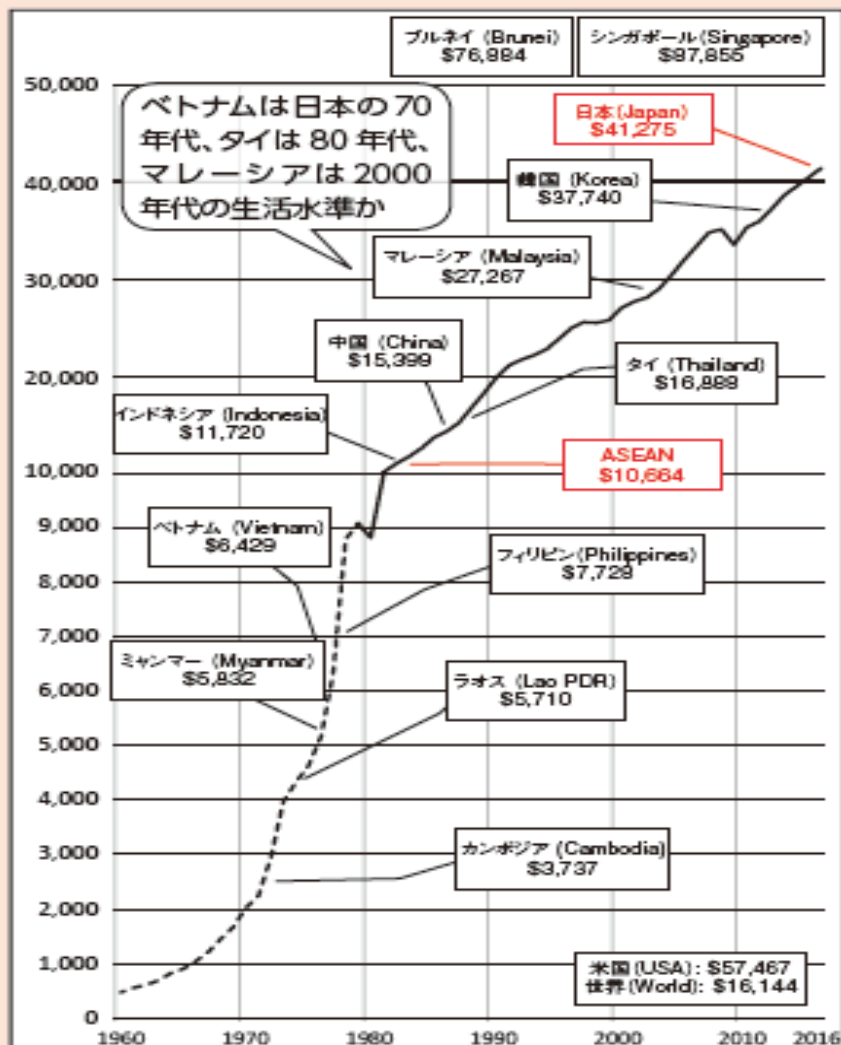


★ 日本のGDP推移と各国の現在
(2016年, 1人当たり)・
成長率/GDP per Capita
and Japan's Growth
(単位:米ドル/Dollars)



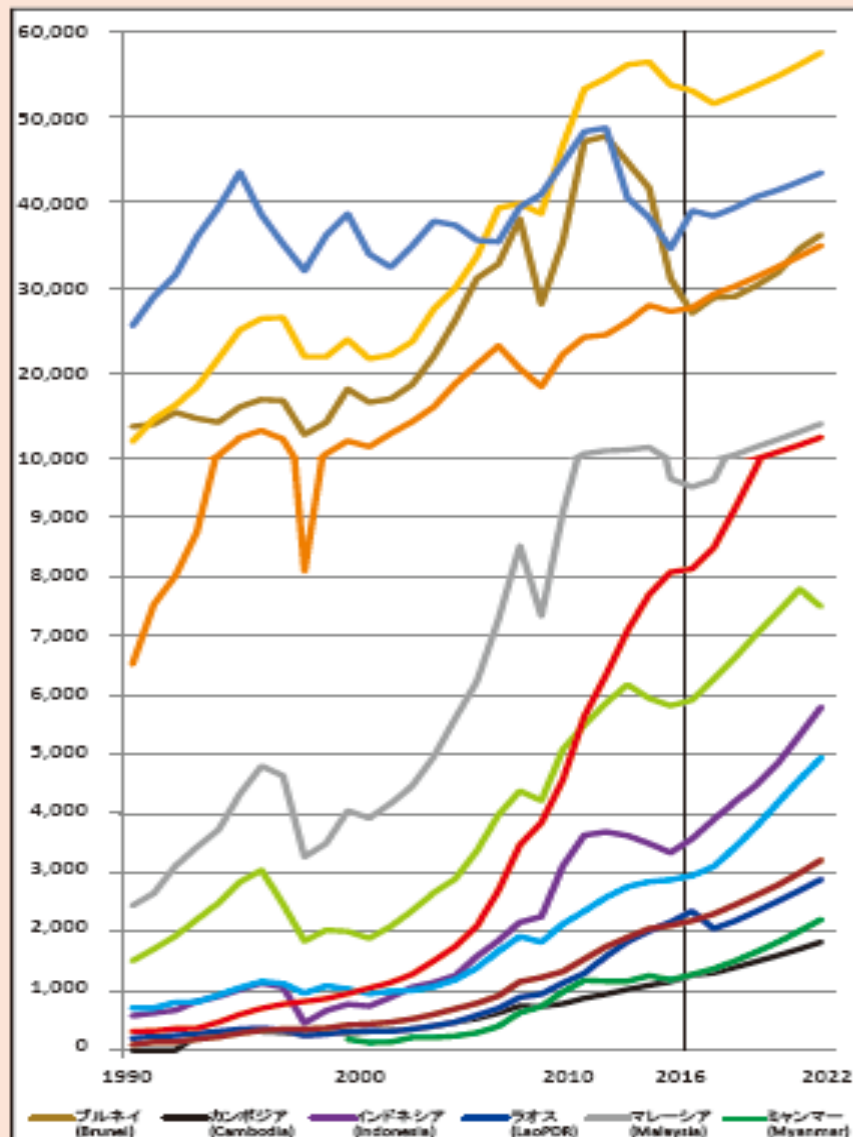
Source: AJC compilation, based on International Monetary Fund, World Economic Outlook Database (2017), <http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2017/01/weodata/weosolgr.aspx>
注/Note: ()はGDP成長率 (2016年, 1人当たり) を示す/ () indicates annual GDP per capita growth.

★ 日本のPPP調整GDP推移と各国
の現在(2016年, 1人当たり)/
GDP(PPP) per Capita
and Japan's Growth
(単位:米ドル /Unit: Dollars)

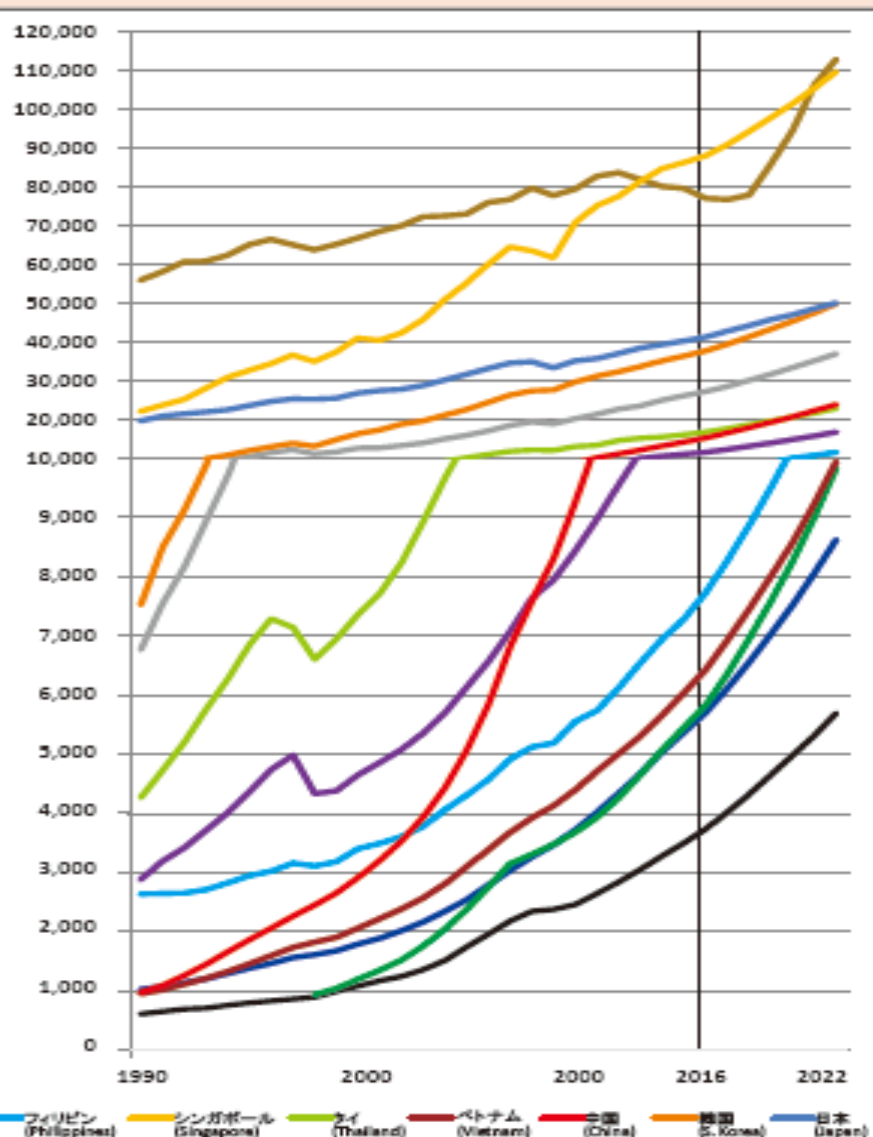


Source: AJC compilation, based on International Monetary Fund, World Economic Outlook Database (2017), <http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2017/01/weodata/weosolgr.aspx>

1人当たりのGDPの推移 / GDP per Capita (単位:米ドル /Unit: Dollars)



1人当たりのPPPの推移 / GDP per Capita, PPP (単位:米ドル /Unit: Dollars)



Source: AJC compilation, based on World Bank, World Development Indicators (2017), <http://databank.worldbank.org/data/views/variableSelection/selectvariables.aspx?source=world-development-indicator>, International Monetary Fund, World Economic Outlook Database, April 2017 <http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2017/01/weodata/weosegr.aspx>

ASEANの社会変動と人々の意識

ベトナム:1961年、フィリピン1963年、インドネシア1968年、タイ1975年、マレーシア1989年という数字。

各国の都市化率:

ベトナム(35%:1961年の日本62%)

インドネシア(55%:1968年の日本70%)

マレーシア)(85%:1989年の日本88%)

各国の世帯構成数:

日本2015年:1人(35%)、2人(28%)、4人(13%)、6人以上(2%)

1964年:1人(8%)、2人(14%)、4人(22%)、6人以上(21%)

(1961年相当)ベトナム2010年: 1人(14%)、2人(15%)、4人(29%)、6人以上(14%)

(1963年相当)フィリピン2010年: 1人(6%)、2人(11%)、4人(18%)、6人以上(33%)

(1975年相当)タイ2010年: 1人(18%)、2人(23%)、4人(18%)、6人以上(9%)

(1989年相当)マレーシア2010年: 1人(7%)、2人(12%)、4人(18%)、6人以上(29%)

→日本よりもはっきりした形のメガリージョンでの発展パターン
(首都と地方の格差、違った発展パターン)

人々の意識形成への影響:

比較;日本の出来事

東京タワー(1958年)、水俣病正式発見(1956年)、日本初の原子力発電(1963年)、新幹線・東京オリンピック(1964年)、公害基本法(1967年)、公害国会(1970年)、環境庁発足(1971年、2001年環境省)、吹き付けアスベスト禁止(1971年)、成田空港開業(1978年)、光化学スモッグ(1970年代から)……

— 各国の平均年齢:日本(47歳)、フィリピン(23歳)

— 後発工業国の優位:再新技術の容易な採用、カエル跳びと言われる追い越し、ICTなど若年層主導の経済社会発展、グローバル化の進展による国際標準の思想(地球環境、無農薬、リサイクル……)

→「所得水準」と「生活水準」のギャップ

→経済発展の時間軸におけるギャップ／都市の発展レベルと政府の財政状況

→コモディティ購買力とインフラ整備、社会構造のギャップ

今後、これらのギャップが縮まってくる。ポイントは、このギャップを埋めていくのが「品質」。日本企業が品質で貢献できるかどうかポイント。

■ 世帯あたり耐久消費財普及率(2012年) / Household penetration rates of durable consumer goods (2012)

	冷蔵庫 (Refrigerator)	洗濯機 (Washingmachine)	エアコン (Airconditioner)	カラーTV (Colortelevision)	電子レンジ (Microwaveoven)	掃除機 (Vacuumcleaner)	パソコン (Personalcomputer)	電話 (Telephone)	乗用車 (Passengercar)	二輪車 (Motorcycle)
マレーシア (Malaysia)	97.2%	89.8%	34.2%	98.8%	27.4%	76.7%	65.8%	26.9%	63.2%	52.6%
タイ (Thailand)	90.1%	55.8%	14.6%	93.1%	39.9%	14.0%	26.3%	20.0%	14.8%	72.0%
インドネシア (Indonesia)	30.6%	30.5%	7.6%	73.4%	3.0%	38.6%	13.2%	8.5%	7.4%	23.5%
フィリピン (Philippines) ※ 2011年	41.4%	32.1%	12.9%	72.9%	31.8%	41.2%	17.2%	11.6%	10.9%	31.2%
シンガポール (Singapore)	99.2%	97.3%	78.8%	99.5%	68.1%	70.1%	87.6%	87.5%	40.6%	7.1%
ベトナム (Vietnam)	50.0%	22.5%	9.5%	89.5%	20.9%	35.2%	19.5%	30.6%	1.5%	80.6%
中国 (China)	77.0%	73.2%	53.0%	96.8%	33.7%	33.7%	39.3%	69.1%	6.1%	40.7%
韓国 (Korea)	99.7%	99.0%	53.5%	98.5%	95.0%	90.6%	82.2%	74.9%	68.6%	7.4%
日本 (Japan)	98.9%	99.6%	89.6%	96.5%	97.6%	99.1%	87.7%	95.5%	83.9%	19.5%

Source : Consumer Asia Pacific and Australasia 2014 21st Edition, Euromonitor International. Reproduction of this data is prohibited (転載禁止)

所得水準が日本の70年代のベトナムでも、多くの世帯でカラーテレビやバイク、冷蔵庫を持っており、消費パターンに違いも。

ご静聴ありがとうございました。

ASEANの投資・貿易・観光情報(セミナーのお知らせなど)、
www.asean.or.jpでメルマガ登録できます。